

事業番号	09 03 09	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	発生予察事業			担当課	部局	農政部	
					課・室	農業技術課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	H16 ~		

1 事業の概要

目指す姿	農作物の生産確保と品質向上を図るため、病害虫の発生状況を的確に前もって推察(予察)することにより、予察情報に基づいた効率的かつ効果的な病害虫防除の推進を目指す。 また、本県の農業生産上、課題となっている病害虫の防除に必要な農薬について、その効果等の試験を積極的に行い、農薬メーカーへ提供することで、登録の拡大を目指す。
------	--

現状	○近年、地球温暖化等の影響により、病害虫の発生時期や発生回数等が変化しており、従来の防除時期では適期防除ができない場合もあることから、予察情報に基づく防除が重要となっている。 ○これまで確認されなかった新たな病害虫の確認や発生が少なかった病害虫が多発生する中、新たな農薬の登録に対する要望が増加している。
----	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 発生予察事業は、植物防疫法に基づき都道府県が実施することとされている。(植物防疫法)農薬登録拡大をするためには、「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用に基づき、都道府県の農業試験場等公的な機関が行った試験成績の提出が必要である。(「農薬の登録申請に係る試験成績について」の運用通知)
	県民との協働による実施：困難	

事業内容	① 成果目標(H25)						
	○水稲の「いもち病」による被害の発生割合：18%						
	○水稲の「斑点米カメムシ」による被害の発生割合：5%						
	② 事業内容 (単位：千円)						
	項目	実施方法	H25事業実績				
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)		
	病害虫発生予察の推進	直接	病害虫発生予察ほ場等の設置及び調査(43ヶ所)		5,493	5,301	5,621
	植物防疫総合情報ネットワークへの加入	直接	日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システム(JPP-NET)への加入		378	378	378
	発生予察技術の確立及び実証	直接	病害虫の発生予察方法(手法)等の確立 イネいもち病の発生予測		232	232	232
	病害虫防除員の設置	直接	「病害虫防除所の設置及び病害虫防除員の設置区域に関する条例」に基づき、市町村区域内で防除指導等を行う病害虫防除員(87名)の設置		405	377	411
ミバエ等侵入警戒調査	直接	チュウカイバエ、コリンガ、火傷病、すいか果実汚斑細菌病の侵入警戒調査(調査ヶ所数：62ヶ所)		253	253	253	
農薬登録拡大推進事業補助金	補助	本県が重点的に実施する農薬登録に係る試験の調整業務を行う県植物防疫協会に対し補助		2,000	2,000	1,800	
		合計	8,761	8,541	8,695		

事業コスト	区分(単位：千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	9,010	8,496	8,761	8,695
		補正予算				
		合計(A)	9,010	8,496	8,761	8,695
	Aの財源	国庫支出金	4,873	4,641	5,269	5,374
		県債				
		その他()				
		一般財源	4,137	3,855	3,492	3,321
	決算額(B)		8,306	8,077	8,541	
概算人件費	職員数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00	
	概算人件費(C)	66,064	66,064	66,064	66,064	
	概算事業費(B(A)+C)	74,370	74,141	74,605	74,759	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
いもち病発生割合	16.5%	18%	17.2%	達成	-
斑点米カメムシの発生割合	6.9%	5%	6.6%	未達成	-
予察巡回調査ほ場の設置					214ヶ所
予察情報の発表					6回/年

目標に対する成果の状況	いもち病については目標を上回る成果となった。 斑点米カメムシについては、発生予察に基づき注意報を発表し、防除の徹底を呼び掛け、防除が実施されたが、例年にない気象の影響(高温)により、昨年度より発生が拡大し未達成となった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのよう にしたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、予察による病害虫発生状況の的確な把握と予察情報の発信を通して、適切な防除指導等の実施による病害虫のまん延防止を図る。